＜先週の説教から＞

『ルツ記①―旅の始まり』　武田真治牧師

ルツ記 １：１～７　ルカによる福音書１５：１１～２０

本日からルツ記を読み始めます。この書は四つの章しかなく一気に読んで結論を知り『めでたし、めでたし』で終えてしまうことが多いように思います。しかしルツ記のテーマは“旅＝人生という旅”ですから、その旅の道中が大事なのです。それはヨブ記が(結論よりも)その途中の会話や議論が大事であるのと同じです。私たちの人生の旅路も一つ一つの出来事の積み重ねです。じっくり読み進めて行きましょう。

ルツ記は「士師が世を治めていたころ、飢饉が国を襲ったので」と始まります。士師とは、ルツ記の前にある士師記のことです。まさに士師記の最後は「そのころ、イスラエルには王がなく、それぞれ自分の目に正しいとすることを行っていた。」で終っています。国として統一されていない時代、飢饉が起きても国全体での援助策など持てなかったのです。各々の家族で対処する他ありませんでした。夫エリメレクと妻ナオミは二人の息子を連れて「ユダのベツレヘムからモアブの野に移り住んだ」のでした。そして「彼らはモアブの野に移り住んだ」とありますから、町ではなく郊外で、おそらく畑仕事か家畜の放牧の仕事に着いたのでしょう。外国人がいきなり行って雇ってもらえるような仕事は体を酷使する働きでしかなかったでしょう。そのため無理を重ねたのか、まもなく「夫エリメレクは、ナオミと二人の息子を残して死んだ」のでした。死を迎えた夫も辛かったでしょうが、残された家族にとってはこれからどう生きて行けばよいか途方に暮れたことでしょう。本当なら、この時、ナオミたちが故郷ベツレヘムに帰る潮時ではなかったでしょうか？

しかし、ナオミはなおもモアブの地で頑張ったのでした。なぜか？　まだ飢饉が納まっていなかったことと、息子たちを一人前にするためでした。おそらく夫の仕事を引き継いで働いたと考えられます。そして１０年が経つ頃、息子たちは「モアブの女を妻とした。一人はオルパ、もう一人はルツといった」。まさに彼女は女手一つで子供たちを立派に育て上げたのです。すばらしいです。これで一安心とナオミは安堵したのではないかと思います。

ところが、その二人の息子「マフロンとキルヨンの二人も死に、ナオミは一人残された」とあります。なんという不幸でしょうか、頑張って来たのに、どうして神様はこんな悲しみを重ねて与えるのかと思います。ユダヤ教のタルムードでは、この不幸は、約束の地を捨てて外国に移住した罪の結果だと言っていますが、そうでしょうか？　私たちの人生にも頑張っているのにこんな辛い事や悲しい事がどうして、と思う出来事が大なり小なり起こります。それらは神様の罰なのでしょうか？　そうではないと思います。きっと何かの意味がそこに与えられていると思います。そうでなければやり切れません。神様は私たちを不幸に合わせようとか、意地悪される方ではありません。そのようなナオミたちを助けるための神様の導きが、実はちゃんともう、その時に始まっていました。それが「主がその民を顧み、食べ物をお与えになったということを彼女はモアブの野で聞いた」です。故郷ベツレヘムに戻る道が示されていたのでした。帰る場所と時をちゃんと用意してくださっていました。帰る場所がある人は大丈夫なのです！　そして、彼女たちの新しい旅が始まります！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.　11月 3日（水）20：00
Ⅱ.　11月 4日（木）10：30

聖　　書：　エゼキエル書
祈祷主題：　聖徒の日・召天者記念礼拝・墓前礼拝を覚えて
担 当 者：　（水）岩井　　（木）富澤
祈 る 人：　小草さん　　柿澤さん

【教勢報告】

主日礼拝	男 20	女 59	計 79
祈祷会 Ⅰ.	男 5	女 3	計 8
Ⅱ.	男 3	女 10	計 13
日曜学校	幼稚科 12	小中科 20	計 32

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　１１月　７日（日）

聖　書：　ルツ記　１：１８～２：３
ヨハネによる福音書　１１：１７～２７
説　教：　「召天者記念礼拝・ルツ記③―人生の旅の終わり？」　武田 真治 牧師
讃美歌：　３７９(1)、３２、３８５(1と2)、３８５(3と4)、２４

【次週当番表】

司式:金刺長老　奏楽:須田　礼拝:齋藤長老
献金：青島　浅井　　受付：松田　森本
会堂準備：浅井　阿部　金刺　齋藤　山田
看板：保坂　　週報：岩佐　　お花：森本

【次週集会予定】礼拝前：聖書輪読会　礼拝後：・墓前礼拝

６２－４４

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　１０月　３１日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/